

3年	国語	4月	単元名『詩を楽しもう どきん』	1 / 1
ねらい	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。			
活用場面	展開段階で他の擬音語や擬態語を探す場面で			
活用の仕方	「どきん」に掲載されている他の詩の中で使われている擬音語や擬態語を読み味わうことで、詩のイメージを捉えさせる際に使う。			
参考図書	谷川俊太郎少年詩集 どきん (谷川俊太郎 理論社 5846)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

3年	国語	4月	単元名『図書館たんていだん』	1 / 1
ねらい	読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。			
活用場面	展開で地域や学校の図書館の役割や工夫に調べる場面で			
活用の仕方	上記同様			
参考図書	楽しい読書のための本 (水野寿美子 ポプラ社 3233) 図書館のしくみ (紺野順子 ポプラ社 3231) 図書館ってなんだろう (笠原良郎 ポプラ社 3230)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

3年	国語	4月	単元名『国語辞典を使おう』	1～2 / 2
ねらい	辞書の使い方を理解し使うことができる。			
活用場面	教科書での見出し語の見つけ方にそって調べ学習を行う際			
活用の仕方	見出し語の見つけ方にそって、調べたい言葉を辞典を使って探すときに使う。			
参考図書	小学新国語辞典 (甲斐睦郎 光村教育図書 7762)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○
			発展型	
				表現型

3年	国語	4月	単元名『春のくらし』	1 / 1
ねらい	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。			
活用場面	春の情景、行事、言葉を探す場面で			
活用の仕方	積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書く際に使う。			
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校1 (教育画劇 坪内稔典 5513) 和の行事えほん～春と夏の巻～ (高野紀子 あすなろ書房 7104) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879) はじめてであう俳句の本 春の句 (2702)			
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	
			発展型	
				表現型
				○

3年	国語	5月	単元名『漢字の音と訓』				2 / 2	
ねらい	音読みと訓読みが分かり、第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。							
活用場面	音訓の読み方の違いについて調べる際に							
活用の仕方	P148「これまでに習った漢字」や国語辞典などを使って、音訓クイズを作り出す際 使う。							
参考図書	漢字のよみかた 漢字の音と訓 (下村昇 小峰書店 4099) 小学生のまんが漢字辞典 (加納喜光 学研 7312 ※P 24 参照) 小学新国語辞典 (甲斐睦郎 光村教育図書 7762)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型		表現型	

3年	国語	5月	単元名『言葉で遊ぼう』				1～2 / 9	
ねらい	段落の役割について理解することができる。また、全体と中心など情報と情報との 関係について理解することができる。							
活用場面	展開・終末							
活用の仕方	1 言葉遊びについての説明文の学習をする。「しゃれ・回文・アナグラム」につい て知る。 2 「例文の他にどんな回文があるのだろうか？文の長いものもあるのかな？本で調べ てみよう。」							
参考図書	・ことば遊びチャレンジ20 (8035) ・だじゃれ すいぞくかん (4487) ・だじゃれ どうぶつえん (6274)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	9月	単元名『ちいちゃんのかげおくり』				全 / 10	
ねらい	本作品の時代背景をとらえ、情景や登場人物の心情を深く感じさせ、学習内容をよ り深化させる。							
活用場面	全単元							
活用の仕方	関連のある物語等を並行読書させることによって、戦争時代の町の様子や生活の様 子、人々の苦しみ等をより深くより広く学ばせる。							
参考図書	ちいちゃんのかげおくり (2485) おはじきの木 (6238) はらっぱ (7727) おとなになれなかった弟たち (3780) ガラスのうさぎ (1089,7) おかあさんの木 (7098) おかあさんの紙びな (6263) 8月6日のこと (7247)							
活用分類	興味・関心喚起型	○	理解型	○	発展型		表現型	

3年	国語	6月	単元名『俳句を楽しもう』	1 / 1				
ねらい	易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。							
活用場面	授業の展開段階で							
活用の仕方	教科書の短歌・俳句の情景が思いうかばない児童に対して、解説文を読ませることでイメージをもたせる。							
参考図書	俳句に親しもう (神野紗希 金の星社 7316) ねんてん先生の俳句の学校1 (教育画劇 坪内稔典 5513) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879) はじめてであう俳句の本 夏の句 (2703)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	7月	単元名『夏の暮らし』	1 / 2				
ねらい	語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。							
活用場面	夏の情景をイメージさせたり、夏の言葉を集める際に							
活用の仕方	学習課題に沿って、夏らしさを表現した文章を書く際に使う。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校1 (教育画劇 坪内稔典 5513) 和の行事えほん～春と夏の巻～ (高野紀子 あすなる書房 7104) ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

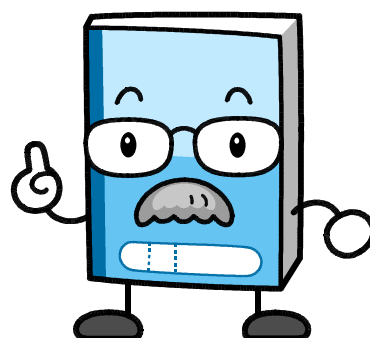
3年	国語	9月	単元名『わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる』	1～2 / 2				
ねらい	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。							
活用場面	それぞれの詩について同一作者の他の詩を読み比べる際に							
活用の仕方	上記同様							
参考図書	阪田寛夫童謡詩集 夕日がせなかをおしてくる (北川幸比古 岩崎書店 7849) 金子みすず童謡集 私と小鳥とすずと (矢崎節夫 JULA 出版局 6487)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型		表現型	

3年	国語	9月	単元名『へんとつくり』	2 / 2				
ねらい	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。							
活用場面	展開で教科書以外の漢字のへんやつくりについて調べる場面で							
活用の仕方	上記同様							
参考図書	へんとつくりってなに? (下村昇 小峰書店 4101)							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	10月	単元名『修飾語を使って書こう』	2/2				
ねらい	修飾語の役割について理解することができる。							
活用場面	展開・終末							
活用の仕方	1 修飾語について学習する。 2 「修飾語がかわると、様子もかわって面白い。いろんな言葉（修飾語）を調べてみたい。」							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>ことばがいっぱい言葉図鑑③かざることばA (7903)</li> <li>ことばがいっぱい言葉図鑑③かざることばB (7904)</li> <li>小学生のまんが言葉のきまり辞典 (学研 金田一秀穂 7310)</li> </ul>							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	10月	単元名『秋の暮らし』	2/2				
ねらい	秋の行事に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。							
活用場面	「○○の秋」という題名で、絵と文章を書く場面で							
活用の仕方	○ 秋らしい様子について子どもがイメージをもてなかったり、自分の思い描く情景にぴったりの言葉が出てこないときに図書を活用する。							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねんてん先生の俳句の学校3 (教育画劇 坪内稔典 5515)</li> <li>まんがでわかる日本の古典 (学研まんが 吉野朋美 7315)</li> <li>和の行事えほん～秋と冬の巻～ (高野紀子 あすなろ書房 7105)</li> <li>ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば (4879)</li> <li>はじめてであう俳句の本 秋の句 (2704)</li> </ul>							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>

3年	国語	11月	単元名『すがたを変える大豆』※複合単元	9～12/14				
ねらい	目的に適した事例を複数挙げながら、説明する文章を書くことができる。							
活用場面	「○○の秋」という題名で、絵と文章を書く場面で							
活用の仕方	「食べ物のひみつを分かりやすくせつめいする文章を書くという目的で、「米」「麦」「とうもろこし」「牛乳」「魚」「いも」の本の中から選ぶ。							
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>すがたをかえる米・麦①～⑦ (幕内秀夫 学研 5487)</li> <li>たべもの (無藤隆 フレーベル館 7018)</li> <li>おもしろふしぎ日本の伝統食材 いわし (おくむらあやの 7450)</li> <li>こどものずかん10 たべもの (ひかりのくに 7898)</li> </ul>							
活用分類	興味・関心喚起型	<input type="radio"/>	理解型	<input type="radio"/>	発展型	<input type="radio"/>	表現型	<input type="radio"/>



3年	国語	11月	単元名『ことわざ・故事成語』	3～4 / 4				
ねらい	ことわざの意味を国語辞典やことわざの本を使って調べることができる。							
活用場面	教科書以外のことわざや故事成語を調べる場面で							
活用の仕方	友達や家族にお勧めしたいことわざパンフレットを作るために、日常生活でよく使用されることわざを調べる際に使う。							
参考図書	小学生のまんが ことわざ辞典（金田一春彦 学研 7308） ことわざ絵本（五味太郎 岩崎書店 5848） ことわざ慣用句辞典（7089） 変なことわざ図鑑（7535） まんが慣用句辞典（7307） ちびまるこちゃんのことわざ教室（6206） ドラえものの国語おもしろ攻略 慣用句びっくりことば事典（6757）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型	○	表現型	

3年	国語	12月	単元名『短歌を楽しもう』	1 / 1				
ねらい	易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。							
活用場面	教科書の短歌を音読して解説文を読んだ後の場面で							
活用の仕方	短歌の解説文を読んでも情景のイメージがわからないときに使う。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校3（教育画劇 坪内稔典 5515） 和の行事えほん～秋と冬の巻～（高野紀子 あすなる書房 7105） 短歌に親しもう（7317） 俳句・短歌をつくろう（7318） ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば（4879）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	12月	単元名『冬の暮らし』	2 / 2				
ねらい	語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。							
活用場面	自分が見つけた冬について詩に表す場面で							
活用の仕方	冬にまつわる行事や言葉が見つからないとき、冬の情景をイメージできないときに活用する。							
参考図書	ねんてん先生の俳句の学校2（教育画劇 坪内稔典 5514） 和の行事えほん～秋と冬の巻～（高野紀子 あすなる書房 7105） ことばの絵事典①季節・暦・くらしのことば（4879）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型		発展型		表現型	○

3年	国語	1月	単元名『詩のくふうをたのしもう』	2 / 4				
ねらい	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。							
活用場面	教科書以外の詩で視覚的工夫、リズムや語感の響きなどの工夫を味わわせる場面で							
活用の仕方	教科書以外の詩をたくさん味わわせ、視覚的な詩の楽しさ、言葉の響きのよさが表れる詩を作る際のヒントになるように読ませる。							
参考図書	あそぶ詩きこえる詩（はせみつ子 富山房 5845）							
活用分類	興味・関心喚起型		理解型	○	発展型		表現型	○